



平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月4日

上場会社名 株式会社エムティーアイ 上場取引所 東  
 コード番号 9438 URL http://www.mti.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)前多 俊宏  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)松本 博 (TEL)03(5333)6323  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

1. 平成27年9月期第1四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	8,209	9.5	1,333	46.7	1,315	51.1	761	78.8
26年9月期第1四半期	7,498	2.3	909	323.6	870	303.1	425	129.8

(注) 包括利益 27年9月期第1四半期 880百万円(95.2%) 26年9月期第1四半期 451百万円(81.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	30.23	29.83
26年9月期第1四半期	16.96	16.86

当社は平成26年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第1四半期	16,742	10,347	58.8
26年9月期	16,768	9,722	55.4

(参考) 自己資本 27年9月期第1四半期 9,846百万円 26年9月期 9,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	10.00	—	12.00	—
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	10.00	—	6.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成27年2月4日に発表しました「株式分割および定款の一部変更に関するお知らせ」のとおり、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行う予定です。そのため平成27年9月期の第2四半期末(予想)の1株当たり配当金については株式分割前の数値で算定していますが、期末(予想)の1株当たり配当金については株式分割後の数値で算定しています。詳細は次ページ「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,700	9.3	2,000	53.3	1,960	49.6	1,040	31.5	20.65
通期	34,000	9.7	4,200	64.2	4,120	63.5	2,270	69.7	45.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

「平成27年9月期の連結業績予想」における1株当たり当期純利益については、平成27年4月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割する株式分割が平成27年9月期の期首に行われたと仮定して算定しています。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、第2四半期(累計)が41円29銭、通期が90円13銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年9月期1Q	26,816,000株	26年9月期	26,810,600株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年9月期1Q	1,630,464株	26年9月期	1,630,464株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年9月期1Q	25,183,044株	26年9月期1Q	25,107,558株
----------	-------------	----------	-------------

当社は平成26年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数 (自己株式を含む)、期末自己株式数および期中平均株式数 (四半期累計) を算定しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3～4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成27年2月5日(木)に機関投資家等に対して第1四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会の模様および説明内容 (動画)については、当日使用する決算説明会資料とともに、説明会終了後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(その他の特記事項)

当社は平成27年2月4日開催の取締役会において、株式分割について決議し、平成27年4月1日を効力発生日として普通株式1株を2株へ分割することとしています。これに伴う平成27年9月期の配当予想および連結業績予想については当該開示資料をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## 2015年9月期 第1四半期の概況(2014年10月1日～2014年12月31日)

スマートフォンの普及率はすでに過半数を超えていることから、スマートフォン販売台数に一服感がみられますが、買い替え需要については底堅く、スマートフォンの普及拡大は続いている状況にあります。

このような環境のもと、当社では12月の商戦期にプロモーションを積極投入し、前期に設置した全国各地の営業拠点を起点とした各携帯ショップへのきめ細かなサポートを継続的に行い、スマートフォン有料会員数の拡大に注力しました。その結果、2014年12月末の同有料会員数は552万人(2014年9月末比12万人増)となりました。

一方、フィーチャーフォン有料会員数においてはスマートフォンへの移行が進んでいますが、純減ペースは鈍化傾向にあり2014年12月末の同有料会員数は231万人(同15万人減)となりました。以上の結果、2014年12月末の有料会員数合計は783万人(同3万人減)となりました。

売上高は、各主力サービスにおいて顧客単価(ARPU)の向上を図っていること、携帯キャリア系月額定額使い放題サービス向け売上高の拡大により8,209百万円(前年同期比9.5%増)と増収となり、売上総利益についても6,865百万円(同9.3%増)と増益となりました。

営業利益、経常利益および四半期純利益は、売上総利益の増益に加え、販売費及び一般管理費(販管費)の増加をメリハリの効いた使い方を通じて適切にコントロールしたことにより、それぞれ1,333百万円(同46.7%増)、1,315百万円(同51.1%増)、761百万円(同78.8%増)となりました。

## 連結業績

(2014年10月1日～2014年12月31日)

	2015年9月期 第1四半期	2014年9月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	8,209	7,498	+710	+9.5
売上原価	1,343	1,219	+124	+10.2
売上総利益	6,865	6,279	+585	+9.3
販管費	5,532	5,370	+161	+3.0
営業利益	1,333	909	+424	+46.7
経常利益	1,315	870	+444	+51.1
当期純利益	761	425	+335	+78.8

## 販管費内訳

(2014年10月1日～2014年12月31日)

	2015年9月期 第1四半期	2014年9月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
販管費総額	5,532	5,370	+161	+3.0
広告宣伝費	2,021	1,685	+335	+19.9
人件費	1,374	1,403	△29	△2.1
支払手数料	896	806	+90	+11.2
外注費	350	438	△88	△20.1
減価償却費	353	444	△90	△20.4
その他	535	592	△56	△9.6

**(2) 財政状態に関する説明****資産・負債・純資産の状況**

当第1四半期末の資産合計は16,742百万円となり、2014年9月末対比25百万円の減少となりました。

資産の部については、流動資産では受取手形および売掛金が増加した一方で主に現金及び預金が増加したことにより20百万円の減少となり、固定資産では投資有価証券が増加した一方で、主にソフトウェアが増加したことにより5百万円の減少となりました。

負債の部については、流動負債では買掛金が増加した一方で主に未払消費税等が増加したことにより619百万円の減少となり、固定負債では主に退職給付に係る負債が増加したことにより31百万円の減少となりました。

純資産の部については、配当金の支払いがありました。四半期純利益として761百万円を計上したことにより、624百万円の増加となりました。

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2015年9月期 第1四半期末	16,742	10,347	58.8
2014年9月期末	16,768	9,722	55.4

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

第2四半期以降も、引き続きスマートフォン有料会員数の拡大に注力するとともに、顧客単価（ARPU）の向上にも取り組めます。

当社の強みである携帯ショップでお客様に自社・他社コンテンツの販売促進を行う販売チャネルが圧倒的No.1の規模を構築していることを活かし、自社コンテンツではスマートフォン有料会員数を拡大させ、他社コンテンツでは販売手数料の拡大を図ります。

また、2014年9月に音楽、書籍・コミックを統合した『music.jp 音楽と本の店』（税抜で月額400円）を開始しましたが、持分法適用関連会社である㈱ビデオマーケットと連携して、今春より動画を追加した高付加価値サービスの開始を予定し、スマートフォン有料会員数の拡大とARPUの向上に繋げていきます。

健康系サービスにおいても、『ルナルナ』の高付加価値サービスである『ルナルナ ファミリー』（税抜で月額300円）の有料会員数を拡大させるとともに、700万人弱にご利用いただいている『ルナルナLite』のサービス拡充を通じて、利用ユーザー層のさらなる拡大にも取り組んでいきます。

さらには、携帯キャリア系月額定額使い放題サービス向け売上高の拡大傾向が続いていますので、その継続拡大に資する施策の実行を積極的に展開していきます。

なお、2015年9月期の第2四半期累計期間業績予想および通期の連結業績予想については、本日発表しました「連結業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおりであり、売上高および利益ともに過去最高の水準となる見込みです。

**2015年9月期 第2四半期累計期間業績予想  
(2014年10月1日～2015年3月31日)**

連結		
売上高	16,700百万円	(前年同期比 9.3%増加)
営業利益	2,000百万円	(前年同期比 53.3%増加)
経常利益	1,960百万円	(前年同期比 49.6%増加)
当期純利益	1,040百万円	(前年同期比 31.5%増加)

**2015年9月期 通期業績予想**  
(2014年10月1日～2015年9月30日)

連結		
売上高	34,000百万円	(前期比 9.7%増加)
営業利益	4,200百万円	(前期比 64.2%増加)
経常利益	4,120百万円	(前期比 63.5%増加)
当期純利益	2,270百万円	(前期比 69.7%増加)

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しています。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が61,720千円減少し、利益剰余金が39,723千円増加しています。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,782,677	4,451,387
受取手形及び売掛金	6,294,778	6,445,296
繰延税金資産	378,136	215,065
その他	836,262	1,155,473
貸倒引当金	△108,691	△104,545
流動資産合計	12,183,163	12,162,677
固定資産		
有形固定資産	143,032	137,865
無形固定資産		
ソフトウェア	2,150,300	2,039,806
のれん	2,355	1,850
その他	25,034	24,428
無形固定資産合計	2,177,690	2,066,085
投資その他の資産		
投資有価証券	813,082	951,788
敷金及び保証金	489,586	491,832
繰延税金資産	883,432	866,800
その他	99,694	86,666
貸倒引当金	△21,317	△21,317
投資その他の資産合計	2,264,478	2,375,770
固定資産合計	4,585,200	4,579,721
資産合計	16,768,363	16,742,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	976,524	1,049,185
未払金	2,317,692	2,345,931
未払法人税等	674,912	301,157
賞与引当金	—	144,475
コイン等引当金	277,447	229,888
その他	1,480,847	1,037,246
流動負債合計	5,727,424	5,107,884
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
退職給付に係る負債	768,368	736,665
負ののれん	49,659	47,379
その他	141	2,808
固定負債合計	1,318,168	1,286,853
負債合計	7,045,593	6,394,738
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,596,342	2,598,449
資本剰余金	3,111,863	3,113,970
利益剰余金	4,305,998	4,804,863
自己株式	△695,491	△695,491
株主資本合計	9,318,712	9,821,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,198	100,851
為替換算調整勘定	△31,735	△8,733
退職給付に係る調整累計額	△69,979	△66,923
その他の包括利益累計額合計	△27,516	25,194
新株予約権	206,905	211,081
少数株主持分	224,667	289,593
純資産合計	9,722,770	10,347,660
負債純資産合計	16,768,363	16,742,398

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	7,498,892	8,209,168
売上原価	1,219,214	1,343,629
売上総利益	6,279,677	6,865,539
販売費及び一般管理費	5,370,662	5,532,205
営業利益	909,015	1,333,333
営業外収益		
受取利息	36	18
受取配当金	681	2,196
負ののれん償却額	2,279	2,279
新株予約権戻入益	891	3,866
受取補償金	7,416	—
受取保険金	—	5,000
その他	4,470	6,908
営業外収益合計	15,775	20,269
営業外費用		
支払利息	3,318	1,364
持分法による投資損失	46,555	21,129
その他	4,242	15,606
営業外費用合計	54,116	38,100
経常利益	870,674	1,315,502
特別利益		
特別損失		
固定資産除却損	15,885	32,198
特別損失合計	15,885	32,198
税金等調整前四半期純利益	854,789	1,283,304
法人税、住民税及び事業税	348,162	308,935
法人税等調整額	77,728	139,005
法人税等合計	425,891	447,941
少数株主損益調整前四半期純利益	428,897	835,362
少数株主利益	3,017	74,059
四半期純利益	425,880	761,303

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	428,897	835,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,343	26,652
為替換算調整勘定	7,211	13,083
退職給付に係る調整額	—	3,055
持分法適用会社に対する持分相当額	702	2,407
その他の包括利益合計	22,257	45,199
四半期包括利益	451,155	880,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	446,445	814,013
少数株主に係る四半期包括利益	4,710	66,548

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。